

平成27年度地域密着型金融に関する取組状況(H27.4～H28.3月)

当金庫は、「地域と共生し豊かな街づくりに奉仕する。」「顧客に最良の金融サービスを提供し信頼に応える。」ことを経営理念として掲げ、創業以来培ってきたお客さまとのリレーションシップをもとに、地域金融機関としての機能発揮に役職員一同本気で取組み、「地域で最も信用、信頼される金融機関」を目指しています。

平成27年度は、国の総合戦略の大きな柱として地方(地域)創生が挙げられ、各地方自治体においては地方版総合戦略の策定と実施が重要な政策課題でした。特に地域金融機関に対しては、地域・企業への深い関与が強く期待され、当金庫では、企業支援室を企業支援部に格上げしたうえで人員を充実させるなど地域・企業支援態勢の強化を図り、「金融仲介機能及びコンサルティング機能の一層の発揮」「地域の面的支援・活性化への取組強化」「地域や利用者に対する積極的な情報発信」の積極的な推進を通じて、地域金融機関として地域・企業の期待に応えられるよう取組みました。

1. 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

(1) 日常的・継続的な関係強化に向けた取組み

取組内容	取組状況
<ul style="list-style-type: none"> 定期的な支援先への訪問による改善計画進捗のモニタリングの実施 販路拡大に向けた各種商談会開催等の情報提供 川上・川下ビジネスネットワーク事業を通じた専門コーディネーターによるシーズ・ニーズ登録での販路開拓支援 産学連携による技術等の課題解決支援 	<ul style="list-style-type: none"> 経営支援先50先に対し延289回の訪問、金融円滑化認定支援先34先に対し延142回の訪問を行い、改善計画の進捗モニタリングや課題解決に向けた指導・提案を実施。 販路拡大に向け、神戸商工会議所等が主催する各種「個別商談会」を22回案内、また各種「ビジネスフェア・商談会」を13回案内した結果、14社がビジネスフェアに参加。 新たに5社をシーズ・ニーズ登録し販路開拓を支援。自社の技術力をPRするための集中プレゼン会に2社参加。 兵庫県立大学産学連携研究機構の技術相談4件実施。

(2) 目利き能力の向上

取組内容	取組状況
<ul style="list-style-type: none"> 顧客企業のライフステージ等に応じた事業ニーズに対応できるように、「目利き能力」の向上に向けた人財育成 	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年9月12日に中小企業基盤整備機構より講師を招聘し、支店長・次長クラスに対し「目利き」研修を実施。42名参加。 平成28年2月27日に川上・川下ビジネスネットワーク事業「信用金庫職員向けセミナー」に35名参加。 外部研修：兵信協主催の「融資渉外研修」に8名派遣。近信協主催の「目利き力強化実践研修」に3名、「コンサルティング機能強化研修」に2名、「融資渉外(法人・事業先)研修」に3名派遣。 通信講座：「法人融資渉外実践講座」8名受講、「法人融資渉外基本講座」5名受講、「目利き力養成講座」4名受講。

(3) ビジネスマッチングの推進

取組内容	取組状況
<ul style="list-style-type: none"> (社)兵庫県信用金庫協会が主催する「川上・川下ビジネスネットワーク事業」への積極的な参画によるビジネスマッチングの推進 信金中央金庫の運用する「しんきん情報共有プラットフォーム」の活用を通じた、顧客企業の販路拡大に向けた支援 当金庫のWebサイト「にしんビジネスネットワーク事業」の運用と活用を通じた、顧客企業の販路拡大に向けた支援 営業店ビジネスマッチングのシーズ・ニーズ情報の登録及びマッチング成約の推進 当金庫主催による宍粟市、宍粟市商工会、信金中央金庫等の外部機関と連携した個別商談会の開催 神戸商工会議所が実施する個別商談会の案内を継続して情報提供することにより販路開拓を支援 	<ul style="list-style-type: none"> 「川上・川下ビジネスネットワーク事業」においては、新たに5社を登録し販路開拓、ビジネスマッチング支援を実施。うち2社が集中プレゼン会参加。 「ビジネスマッチングフェア2016」に2社出展。 信用金庫業界の情報共有ウェブサイト「しんきん情報共有プラットフォーム」を活用し、「しんきん知識の泉」として蓄積されている取引先支援情報及び海外業務支援情報等を支援ツールとして顧客企業に提供。 「にしんビジネスネットワーク事業」においては、新たに21社を登録し、総登録数153社となった。 営業店ビジネスマッチングはマッチング163件で、うち成約51件の実績。 営業店シーズ登録は93件、ニーズ登録は71件の実績。 宍粟市・宍粟市商工会・当金庫の3機関共催で平成28年2月14日に「しそビジネスサポート2016」を開催。ブース出展35社、経営相談会は中小企業診断士・マーケティングアドバイザーを招聘し10社に対応、個別商談会はバイヤー5社、サプライヤー35社で58商談実施。 取引先企業に神戸商工会議所等が主催する各種「個別商談会」を22回案内、各種「ビジネスフェア・商談会」を13回案内。城南信金主催の「全国うまいもん大商談会」に2社出展、「2015ギフト・雑貨商品IN城南信金」に1社出展。このほか「岡山県第11回しんきん合同ビジネス交流会」に1社出展。尼崎信金主催の「あまがさき産業フェア2016」に4社出展予定。

(4) 創業・新事業支援、経営改善支援、事業再生、事業承継等に向けた取組み	
取組内容	取組状況
<ul style="list-style-type: none"> ・信金中央金庫や日本政策金融公庫と連携した開業、創業支援融資への取組みを強化 ・中小企業基盤整備機構の創業に係る補助金活用支援 ・税理士等と連携し経営改善計画の策定支援と進捗状況のモニタリングによるランクアップ推進 ・兵庫県中小企業再生支援協議会、経営改善支援センター、信用保証協会の経営サポート会議等外部機関を活用した再生支援の推進 ・事業承継について、外部専門家(信金中央金庫等)を招聘し、金庫職員を対象とした勉強会を開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・開業、創業支援について、ワンストップで相談業務が出来るよう宍粟市・宍粟市商工会・日本政策金融公庫・当金庫の4機関が創業支援事業における協定書に調印(平成27年9月18日)、宍粟市役所をワンストップ窓口とし連携して創業支援を行う体制とした。 ・宍粟市・宍粟市商工会・日本政策金融公庫・当金庫の4機関が創業支援事業の協定書調印に基づき、「創業塾」を11月2回、12月3回の5回シリーズで開催。創業塾受講者11名。 ・創業補助金受付1件(採択1件)。 ・公的機関等外部機関を利用した再生支援6件申込、経営サポート会議開催6件。併せて税理士等と連携し経営改善計画の策定支援と進捗状況のモニタリングを実施。 ・中小企業基盤整備機構作成の「事業承継の手引き」を職員に配布し、周知を図るとともに、兵庫県よろず支援拠点との連携で、体験型ミニセミナー「事業承継を成功させるには！」を平成28年2月22日、3月3日、3月10日の3回に分け開催。25社がセミナー受講。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業性評価に基づく中小企業の資金ニーズへの積極的取組み(PPM分析・ABL・技術評価制度等の活用) ・医療・介護・環境分野等の成長分野への取組みを強化 ・「経営者保証に関するガイドライン」に対応した融資の取組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・資金ニーズへの積極的な取組として、SWOT分析・PPM分析による企業の事業性評価を開始。職員の能力向上及びノウハウの蓄積を図るため、担当者会議・土曜研修で事例研究による事業性評価の勉強会を実施。ABL手法による取組23件644百万円(内太陽光発電設備20件591百万円)を実行。 ・成長分野への取組として医療介護24件2,248百万円、環境29件587百万円、農林業10件109百万円を実行。 ・「経営者保証に関するガイドライン」の取組として、新規に無保証で融資123件、保証契約を変更・解除82件、合計205件を実行。
<ul style="list-style-type: none"> ・次世代経営者を対象とした事業承継支援の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・「にししんJ-CLUB」において会員企業2社の視察研修を実施(平成27年7月3日参加者18名) ・「にししんJ-CLUB」において「ブルーオーシャン戦略の視点で考える中小企業の新市場創造」をテーマとしたセミナーを開催(平成27年8月18日参加者42名・平成27年11月13日参加者45名) ・「にししんJ-CLUB」において「先進企業に学ぶ顧客価値創造」をテーマとしたセミナーを開催(平成28年2月5日参加者46名)
(5) 外部専門家・外部機関等との連携	
取組内容	取組状況
<ul style="list-style-type: none"> ・外部専門家(弁護士・税理士・中小企業診断士等)や外部機関(地方公共団体・商工会議所・商工会・川上川下ビジネスネットワーク・兵庫県立大学産学連携機構・ひょうご産業活性化センター・中小企業再生支援協議会・経営改善支援センター・経営サポート会議・経営革新等支援機関等)との連携を強化し、顧客企業の事業拡大や経営改善など課題解決に向けた支援を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・川上・川下ビジネスネットワークのシーズ調査5件。 ・産学連携研究機構利用4件。 ・経営サポート会議申込6件。 ・ひょうご産業活性化センターの技術力・経営力評価制度利用23件。 ・特許庁「知財ビジネス評価書作成支援事業」利用6社うち4社採択。 ・平成27年12月1日に「しそうビジネスサポート2016」個別商談会参加サプライヤー対象に、兵庫県よろず支援拠点を招聘し「バイヤーをうならせる説得術！」ミニセミナー開催。11社参加。 ・平成28年2月14日に「しそうビジネスサポート2016」を開催し、ビジネスマッチング・個別商談会・経営相談を実施。経営相談10社、バイヤー5社、サプライヤー35社による個別商談会実施。 ・経済産業省中小企業庁事業・シニア人材経営支援マッチング会を姫路信金、兵庫信金、但陽信金、当金庫合同で開催。事業説明・登録会参加14社。マッチング会参加4社。

2. 地域の面的支援・活性化への取組強化

取組内容	取組状況
<ul style="list-style-type: none"> 「一般財団法人にしん地域振興財団」を通じた地域の面的再生に向けた積極的な取組み 	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティ活動助成事業に210万円を助成。 地場産業振興発展助成事業に20万円を助成。 青少年健全育成助成事業に210万円を助成。
<ul style="list-style-type: none"> 地方公共団体等と連携し地域の活性化に向けた取組み 「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく「地方版総合戦略」策定・実施に向けての積極的関与 	<ul style="list-style-type: none"> 地元の高等学校と連携し、地域活性化(地域のにぎわいづくり)の取組みとして、当金庫本店ショーウィンドウに作品を4回展示。 宍粟市及びたつの市と孤独死等の発生を未然に防止することを目的とした「宍粟市高齢者地域支え合い活動事業」(平成27年12月17日)及び「たつの市地域見守り活動」に関する協定を締結(平成27年12月1日)。 「まち・ひと・しごと創生総合戦略」地方版策定について、宍粟市及びたつの市、佐用町、西播磨県民局の策定に委員として参画し積極的に提言。

3. 地域や利用者に対する積極的な情報発信

取組内容	取組状況
<ul style="list-style-type: none"> 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮や地域の面的支援・活性化への取組強化等について、計画やその成果をホームページやディスクロージャー誌等で分かりやすく情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年度の「地域密着型金融の取組状況」をホームページ(6月)とディスクロージャー誌(7月)で公表。 平成27年度の「地域密着型金融の推進計画」をホームページ(6月)で公表。 平成27年度上期の「地域密着型金融の取組状況」をホームページ(11月)で公表。 西播磨地域の中小企業102社を対象にした景気動向調査を実施し、調査結果を「にしん景況レポート」として公表(4月、7月、10月、1月)。

4. その他地域貢献

取組内容	取組状況
<ul style="list-style-type: none"> 小中学校での金融教育活動の実施 「夏休み親子企業参観」の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 三方、山崎、千種、城下の4小学校及び、一宮北、波賀、山崎南の3中学校、山崎高校の合計8校で金融教育活動を実施。 平成27年8月6日に当金庫職員とその子供を対象に、金融教育を実施。参加数26家族、58名。 平成27年10月2日に姫路市高浜小学校の児童約35名が、生活科の時間に社会勉強の為、飾磨支店に来店。生徒からの質疑応答について支店長及び女性職員が対応。 平成27年11月12日と11月19日に山崎小学校2年生の児童を迎えて、金融教育と本店見学を実施。

※「一般財団法人にしん地域振興財団」は、西播磨地域におけるコミュニティの形成及び地域の振興発展を図るため、コミュニティ活動、地場産業の活性化及び公共施設の整備などに対する支援を行い、地域社会の発展に寄与することを目的に、当金庫が基金の全額を拠出して設立された財団です。